

## 令和4年度京丹後市職員採用

～副業ができ、地方公務員としての新しい働き方～

**任期付短時間勤務職員『ふるさと創生職員』2名を3月1日採用**

令和5年2月28日

京丹後市役所

アフターコロナを展望した地方創生が求められる中、京丹後市に帰ってきたい、あるいは地方での暮らしと仕事をしたいと考えている方々の受け皿として、3年目を迎えた本年度においても3年間の任期付短時間勤務職員の「ふるさと創生職員」を採用します。

この度、ふるさと創生職員2人（本年度3・4人目）を、次のとおり令和5年3月1日付けで採用します。（本年度は6名の採用予定）

## 〈令和5年3月1日付け採用〉

| 氏名    | 年齢  | 現住所         | 配置部署               | 主な業務分野             |
|-------|-----|-------------|--------------------|--------------------|
| (女性)  | 43歳 | 愛知県<br>長久手市 | 教育委員会事務局<br>生涯学習課  | 「まち×文化×アート」のまちづくり  |
| 村上 公太 | 45歳 | 大阪府<br>箕面市  | 教育委員会事務局<br>文化財保護課 | 「文化財×観光」による歴史文化の活用 |

現在のふるさと創生職員は12名

(令和2年度採用3名、令和3年度採用7名、令和4年度採用2名)

## 〈令和5年3月1日付け採用 辞令交付〉

- 日 時 令和5年3月1日（水）午前8時30分～
- 場 所 京丹後市役所 2階 市長応接室
- 交付者 市長

※お問い合わせ先

京丹後市市長公室人事課（電話0772-69-0150）

## 〈ふるさと創生職員〉

任期付短時間勤務職員

－令和5年3月1日付け採用－

- 氏名等 女性（43歳）
- 現住所 愛知県長久手市
- 配置部署 教育委員会事務局 生涯学習課
- 勤務日数 週4日勤務
- 任期 3年間（令和5年3月1日～令和8年2月28日）

### ○主な業務分野

「まち×文化×アート」のまちづくり

～「文化芸術を楽しみ 人が輝く京丹後」の実現に向け、文化芸術活動の企画・立案・実施、文化芸術の担い手育成などを担う人材～

#### 【業務内容】

- ・自らのコミュニケーションスキルや情報ツール等を利活用し、丹後の文化芸術について、国内外に発信、交流する。
- ・文化芸術活動への参加促進、担い手育成
- ・文化イベントの企画・運営支援

### ○経歴

大学卒業後、文化・芸術に関する仕事に従事し、現在に至る。

### ○ふるさと創生職員に応募した理由等

様々な地域に滞在し、芸術祭やアートプロジェクトを遂行する仕事を経験し、その地域での関係性やプロジェクト自体を継続させていくには、当事者としての居場所が必要だと思ったことがきっかけ。

『地方だから出来ない』ではなく、地方だから出来ることを形にしていきたい。

### ○その他

アーティストだけの宿や、空き家をスタジオとして有効活用する、または、アート好きのギャラリー併設の宿泊施設の運営など、ふるさと創生職員としての3年間の関わりの中で、この京丹後の地にあった生業が生み出せればと考えている。

# 〈ふるさと創生職員〉

任期付短時間勤務職員

－令和5年3月1日付け採用－

- 氏名等 村上 公太（45歳）
- 現住所 大阪府箕面市
- 配置部署 教育委員会事務局 文化財保護課
- 勤務日数 週4日勤務
- 任期 3年間（令和5年3月1日～令和8年2月28日）

## ○主な業務分野

「文化財×観光」による歴史文化の活用

～「京丹後市文化財保存活用地域計画」策定後の計画推進に向け、観光や商工分野等との連携による、歴史文化の保存・活用などの推進を担う人材～

### 【業務内容】

- ・文化財と他の分野との連携による、企画・立案・実施
- ・京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会および「(仮称)京丹後市市民遺産会議」を通して、文化財の活用を図る。
- ・日本海側最大の網野銚子山古墳について、観光や地域との連携をはかり、保存と活用の両面からの企画・立案・推進を図る。

## ○経歴

大学院修了後、大阪府内の民間企業等に勤務し、現在に至る。

## ○ふるさと創生職員に応募した理由等

修士論文において、丹波・丹後地域に伝播する内容を取り扱っていた縁もあり、丹後を「もう一つのふるさと」と思っており、学生時代より文化財の保存と活用ということに強い関心を抱いていた。

そういった思いから、自分自身のかつての研究が、今回の募集に役立てられるのではと思い、また、古墳に関する仕事にたずさわれることに魅力を感じている。

## ○その他

任期の3年間を通して、丹後に根付いていきたい。そして、任期終了後も自分自身が取組んだ「文化財×観光」に関わる仕事をしたいと考えている。また、できるだけ自然に近い形で育てる農作物の生産や地元産品を活かした商品開発などにも携われればと考えている。